

## サマーキャンプの受け付け開始です!

アメリカとフィリピンでは、7月～8月にサマーキャンプを開催します。  
5月29日まで募集を開始しますので、ご検討をお願いします。



夏休みは、サマーキャンプが開催されます。しかし、それは日本で普通に生活する私たちの想像するキャンプとは全く違う意味合いを持っています。メトロの関わる子どもたちにとって、夏休みは、学校が休みで楽しく遊べるときではありません。

アメリカの子どもたちが休みの時期になると、大人と関わらない空白の時間ができるといことになります。一般の家庭では、親が仕事で忙しくて面倒を見切れない場合は、子どもを長期のキャンプに参加させたり、祖父母のところに預けます。しかし、キャンプに行かせるだけの経済力や思慮のある親がいたり、預かる親戚がある家庭は恵まれています。もし誰も面倒を見てくれる人がいなければ、家や近所でぶらぶらするか、子どもたち同士でたむろして遊ぶことになります。そうすれば、スラム街の子は、麻薬の密売人やギャングの格好の餌食です。親しく近寄り、最初は優しく接してきます。簡単にお金を稼ぐことができたり、欲しいものがもらえるという話で子どもはすぐに仲間に入れられ、悪の手下になってしまうのです。その後どうなるかは簡単に想像できます。

またフィリピンでは、休みがあれば、家計を助けるためにゴミ捨て場でのゴミあさりの日々が始まります。もしそうでなくても、広いスラム街のただ中に住んで、その日の食べ物のことしか考えられない大人や、手にした日銭を安価で買えるドラッグに使ってしまうのを目の当たりにします。神を信じて希望を持ち、夢を持ってがんばること、学んで成長することを実践してくれる大人が周りにはいません。

子どもたちがスラム街から離れ、ストレスから解放されて楽しく遊び、聖書の話を聞き、祈り、悩みに耳を傾け、将来のことを真剣に考え、愛を現してくれる大人に囲まれる、夢のような時間を過ごすことができるチャンスを与えてください。



次ページへ続く



## 献身50周年、70歳特別プロジェクト

ビル先生の献身50周年と70歳の誕生日を記念して、ワクワクするようなイベントを計画しています。この目的は、単なるお祝いではなく、メトロがこれからさらに多くの働きを推し進めるための支援金集めです。

世界中の人々を対象に、子どもたちへの支援金50万ドルを集めます。

ぜひ、あなたも、あなたの教会や職場、その他のコミュニティーでもこの企画にご賛同いただき、何らかの形で関わっていただければと願っています。

イベントの詳細については、次ページをご覧ください。

## フィリピンの学用品支援!

メ切は4月25日。まだ間に合います!

## サマーキャンプ支援募集開始!

お申し込み用紙は来月同封します。ご検討の上、  
5月29日までにお申し込みください。

## 今月号の目次

P2...サマーキャンプ詳細/特別プロジェクト詳細

P3...特別企画続き/キャンプの証し/ビル師からのメッセージ

P4...日本事務所からの最新情報/連絡先など基本情報

# サマーキャンプお申し込みについて

今回のお申し込みは、アメリカとフィリピンの子どもが対象です。ご支援の子ども以外へのお申し込みも受け付けます。

アメリカの子ども：25,000円（7歳～16歳）

フィリピンの子供も：11,000円（7歳以上）

昨年末までに、7歳になっていることが条件です。

締め切りは5月29日ですので、来月お申し込み用紙をお送りします。メールでお名前と国名、口数をお知らせいただければ、受付できます。



特定の子どもの支援以外にも、金額自由でキャンプ支援献金を受け付けます。**\*ケニアの子どものキャンプは、7～8月にご案内予定。**

## 対象はご支援いただいている子どもですが…

お申し込みいただく場合、もちろんご支援いただいている子どもの参加を最優先で準備をいたします。しかし、その子どもが参加できない場合もあります。その場合は、教会学校に熱心に通っている子どもの中から、代わりに参加できる子どもを探しますので、どうぞご了承ください。ぜひ、ひとりでも多くの子どもにチャンスを与えてください。

子どもがキャンプに参加できない代表的な理由は、以下のようなものです。

1. 休みの間親戚に預けられて、地元にはいない
2. 病気で参加できない
3. 親が許可しない
4. 子どもが精神的に幼くて、ひとりで泊まりに行けない
5. 子どもの機嫌が悪く、参加しない

支援する側にとっては、安い金額ではありませんので、そんな理由で、と思うこともあります。相手はスラム街の子どもですので、どうかご理解をお願いいたします。

## 事前の手続きについて

子どもをキャンプに参加させるためには、お申し込みをいただいた後、スタッフの大変な作業が始まります。それは、キャンプ参加への両親の同意書をいただくことです。それがどうしてそんなに大変なことか、私たちには理解が難しいところです。子どもに関心のない親が、参加させることに積極的でない場合があるのは考えられることですが、それ以外にもスラム街特有の理由があります。

両親が一緒に住んでいない場合が多く、両親のサインをもらうことが難しいのです。離婚や出稼ぎ、その他の理由で別居していたりと理由は様々です。家に電話のない場合は、い

るかどうかわからなくても出向くしかありません。スタッフは、いつも関わっている子どもに、ひとりでも多くこのすばらしいチャンスを与えたいと願って、教会学校や、訪問、様々な準備の合間に、各家庭を走り回り全力を尽くします。

## 子どもへのインパクト

ビル先生が救われたのは、教会のキャンプでした。極貧の中でその日の生活のことで頭がいっぱいの親の元で、愛情を感じられずに育つ子ども、時には虐待や育児放棄の状態にある子どもにとって、キャンプの体験は人生を変えるほどのインパクトがあるのです。子どもたちはキャンプの中で、日本に住む私たちには想像もできない衝撃的な体験をすることになります。いつも、乱雑に汚く散らかっているか、または、家具も何もない家に住む彼らには、清潔な施設で自分のベッドがあることは驚きです。さらに、栄養のバランスや見た目も考えられ、今までテレビでしか見たことがないような、あそこがれのごちそうが1日3回食べられるのです。それが子どもたちにとって、どれほど大きな喜びか、想像してみてください。

## お祈りを願います

皆様には、キャンプのためにぜひお祈りを願いたいのです。まず、子どもたちが、キャンプに参加できるように。親の承諾が速やかに得られるように。子どもやスタッフの安全が守られて、楽しい時となるように。スタッフのひとりひとりが全力で働きをすることができるように。

そして何よりも、子どもたちがイエス・キリストに出会うことができるように。聖書の話聞いて、自分に注がれる神の愛を知り、魂の救いを得ることができるように。背後でのお祈りをよろしく願います。



## 献身50周年、70歳特別プロジェクト①

「登ろう、子どもたちのため」-キリマンジャロ登頂プロジェクト

2日目には誕生祝いをし、オプションで下山後にサファリツアー開催

参加者資格は、①ご自分の登山費用その他 5,850ドルをご準備いただける健康な方 ②最低 7,050ドルの献金を集めてくださる方 ③英語のできる方です。全世界で定員50名ですので、ご興味のある方は、下記ページをご確認の上、すぐにお申し込みください。(10月初旬開催予定)  
<https://metroworldchild.secure.agroup.com/klimbkili>



## 特別プロジェクト②

### 資金集めプロジェクト

教会学校のため、ビル先生の誕生祝いのため何でも OK!

ご自分のできる方法でご参加いただけるよう、方法をお伝えしてお手伝いします。ご興味のある方は、日本事務所にお名前とご連絡先をお知らせください。

## 特別プロジェクト③

### お祝いメッセージプロジェクト

ビル先生に誕生祝いメッセージを送ろう!

<http://www.metroworldchild.org/pastor-bill-birthday> から英語でお送りください。英訳ご希望の場合は、日本事務所にメールで文章をお送りいただければ、翻訳してお返しします。

# 子どもたちをイエス様に 出会わせてくれてありがとう

ダニーロは毎週、日曜学校を設営するところから礼拝まで、私たちをずっと眺めていました。そこはマニラでも最大級のごみ捨て場です。子どもたちの歌や笑顔を見ながらも決して近づこうとしないダニーロに、ある日スタッフが「おいでよ」と声を掛けると、ダニーロは首を振ってこう言うのでした。「行かない。僕はもう12歳だよ。今さら神様なんて。」

フィリピンでは子どもが家計を助けなければならないケースが多く、ごみの山を漁って生活の足しにしています。幼い頃からこうして働いているので、10歳になる頃には自分が子どもだという感覚も失われています。

感謝なことに、ちょうどキャンプが2週間後に近づいてい

たので、メトロスタッフはスポンサーに相談してダニーロをキャンプに連れて行くことができました。ごみにまみれた環境から離れて楽しい時間を過ごし、子どもらしい体験をしたお陰で、ダニーロは素直に「うん」と言えるようになっていました。キャンプで新しい友だちもでき、初めての学習活動の面白さも知りました…しかし何よりの収穫は、ダニーロがイエス様に心を開いたことです。

優しいスポンサーの存在がなければ、ダニーロがキリストを受け入れる機会はなかったでしょう。毎年この必要を満たすために協力してくださり、子どもたちにキャンプの機会を与えようと努めてくださる皆さんに感謝します。皆様の上にも祝福がごさいますように祈ります。



## 50年の歳月と1,000の "THANK YOU"

### ビル師からのメッセージ

今年私は献身生活50年を迎えます。今、こうしてメトロのキャンプの準備をしながら、この長い期間に参加した子どもたちとの交流や「Thank you (ありがとう)」の言葉がよみがえってきます。そこで、私の記憶と心に刻まれた忘れがたい感謝の表現のいくつかをご紹介します。

こんな子がいました、「怒鳴りまくらないでいてくれて、Thank you (ありがとう)」こんな男の子もいました、「怒らないでいてくれて、おねしょしてもキレないでいてくれて、Thank you」別の子は「殴らないでいてくれて Thank you」こんなのはいいですね、「Thank you, Thank you, Thank you, お腹いっぱい食べた」これは忘れられません、「一緒にお祈りしてくれて Thank you」。治安の悪い地域に住んでいる10歳の子はこんなことを言いました、「Thank you. キャンプに来ないで家にいたらトラブルに巻き込まれるところだった」キャンプの2日目にこう言った女の子もいます。「Thank you. 夕べ、銃声が一度も聞こえなくて嬉しかった」別の女の子の言葉です、「Thank you, 聖書をくれて。これ、初めての聖書なの」そして最後、舌足らずで思わず笑ってしまいましたが、幼い男の子が私のところに来て言いました…「イエスさまのキャンプ、すごい楽しい。来させてくれたイエスさまの人に Sank you (=Thank you) って言って」。

1960年、私が初めてキャンプに参加させてもらってキリストを受け入れたその瞬間は、私の人生を決定づけるスター

ト地点でした。私個人の人生の変化だけではありません。それがもたらした波及効果のことを考えてみてください。長年にわたってメトロを、そしてキャンプを支え続けてくださるあなたのような方々のお陰で、次の世代、その次の世代、そのまた次の世代の「Thank you」が続いて行くのです。

子どもたちの「Thank you」の一言に大した意味はないと思う人々もいるでしょう。しかし、あなたはおわかりになるはずです…今、私がお話ししている子どもたちの言葉の持つ力やインパクト、そして子どもたちの小さな「Thank you」が表す本当の意味を。

ですから今、私はあなたに「Sank you」と言います。今年もメトロのキャンプの成功のためにご協力いただけることを感謝します。この小さな無数の「Thank you」— その第一号は1960年に初めて私をキャンプに送ってくれた男性への「Thank you」ですが— 今日こだまし続け、これからもずっと永遠の殿堂にこだまし続けるのです。祝福をお祈りします。ご協力をよろしく願います。

心を込めて

# 日本事務所からのお知らせとお願い

## 里親募集中です！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、常時、新しい子どもの里親を募集しています。

多くの方々にご支援をいただいておりますが、メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、急激に拡大を続けています。

メトロの教会学校に熱心に通ってくる子どもだけを対象としていますが、サポートの必要な子どもたちもどんどん増え続けています。

身近な方々で子ども支援に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

ご検討いただくために必要な資料をお送りいたします。

## 現地報告会開催！

フィリピンのメトロスタッフが来日します。英語はもちろん、日本語も堪能ですので、日本語で現地の活動の状況や、子どもたちについてご説明をいたします。また、皆様からのご質問にも日本語でお答えします。

現場の生の声を聞くことのできる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。下記の日程以外の日で、説明会開催のご希望がございましたら、すぐにお問い合わせください。

現在決まっている日程

関東地区での報告会

6月3日(日)、10日(日)、17日(日)すべて午前7時(木)は午後7時 東京福音センター(銀座)

## 日本セミナー

### 開催希望者募集中！

ビル・ウィルソン師が6月末から7月9日の日程で来日予定です。7月6日(金)は、東京の日本橋公会堂でセミナー予定です。(時間未定)

教会、その他の会場での開催をご希望の場合は、日程を調整しなくてはなりませんので、できるだけ早くご連絡ください。

ブルックリンのスラム街で、無謀とも思える働きを始め、40年足らずで世界規模の働きにまで成長できた信仰の秘訣は、全ての人々の人生の歩みに大きなヒントを与えます。

ぜひご自分の地域での開催の実現のために、ご協力ください。

## 日本事務所よりごあいさつ！

今年は、ビル先生にとって特別な年です。ひとりの捨てられた少年が、主によって救われ、世界的な働きをする人物に成長することなど誰が想像したでしょう。恐らく、働きを始めた当初、ビル先生本人でさえ想像できなかったことでしょう。

昨年のクリスマスに集まった子どもは、世界で25万人を超えています。この先さらなる高みを目指して働きを拡大し、ひとりでも多くの、親からさえ見捨てられたような子どもに救いと希望を届けたいと切望しています。

この記念すべき年に、日本からも多くの支援をしたいと願っていますので、セミナーのご協力をお願いします。

ご支援に心から感謝し、復活の主の豊かな祝福と恵みがありますようお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



## メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン